

公告666号

令和6年9月10日

音羽健康保険組合  
理事長 金丸徳雄



令和5年度の決算の概要についてお知らせいたします。

記

- 1) 令和5年度の決算に対して
- 2) 令和5年度の決算についての詳細
- 3) 令和5年度に実施した主な保健事業

以 上

# 令和5年度の決算に対して

2024年8月

音羽健康保険組合  
理事長  
金丸徳雄

被保険者および被扶養者、そして事業会社のみなさまには、平素より当組合の事業運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和5年度の決算報告をするにあたり、健康保険組合全体の情勢についてご説明いたします。健康保険組合を取り巻く情勢は、年々、厳しさを増している、特に近年は危機的な状況とさえ言われています。音羽健康保険組合でも、保険給付費や納付金などが増加していくなかで、日々の予算運営に真摯に取り組んでいきます。そして、被保険者および被扶養者の方々に向けて、よりよい保険事業をご提供していきたいと考えております。

## 健康保険組合全体

～ 令和4年度の決算見込みと今後の財政見通し～

- ・ 健保組合全体の令和4年度の決算見込みは1,365億円の黒字で昨年に比べて2212億円の改善が見られます
- ・ しかし、組合全体の4割（559組合）は依然赤字を計上しています
- ・ 健保組合全体の保険料収入は2,239億円増加しています
- ・ 全体の保険給付費は2,431億円増加していますが、拠出金は2,458億円減少しています

このように、保険給付費の増加分を拠出金の減少で相殺したために、決算見込みが黒字となりました。さらに、

- ・ 直近5年4月～6月の医療費は、引き続き高い水準で推移しています
- ・ 令和5年度は高齢者拠出金が、4年度の一時的な減少の反動により急激に増加する見込みです

そのため5年度の推計で収支は3,600億円の赤字に転じています。そして拠出金は毎年増加する見込みで、健保組合全体はさらなる財政悪化が見込まれています。

## 音羽健康保険組合

～ 令和5年度の決算見込みと今後の財政見通し～

- ・ 保険料収入は前年に比べて約2,215万円増加して約20億524万円
- ・ 保険給付費は昨年より約2,988万円増加して約7億8,154万円
- ・ 高齢者医療制度への納付金は前年比約1億3,121万円増加して約8億4,916万円
- ・ 経常収支は約6,407万円の黒字を計上

令和5年度は黒字となりましたが、近年は前期高齢者及び後期高齢者向けの納付金が大幅な増加傾向にあり、ここ数年、黒字額は減少していて、来期以降も厳しい財政状況であることには変わりありません。

令和5年度の保健事業は、概ね計画した事業を行うことが出来ました。保険給付については、被保険者一人当たり29万円を超えていて、年々、増加傾向となっています。今後どう推移していくのか、注視しながら今後の運営の参考にしていきたいと思っております。

## 令和6年度の音羽健保の保険事業の基本方針

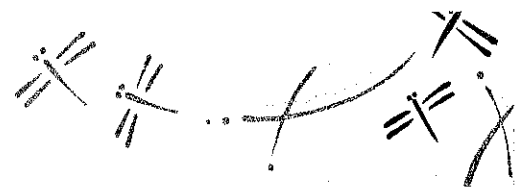
---

- ① 財政の健全化に務め、安定した運営を行う
  - ② 健康保険法を遵守し、諸規定・規則を定めて公正かつ効率的に各種保健事業を行う
  - ③ 被保険者の視点に立った運営を行い、疾病予防と健康増進の充実に努める
  - ④ DX化をすすめて業務の効率化を図り、被保険者の利便性を高める
  - ⑤ 職員の知識向上、スキルアップに努める
- 

以上の方針にのっとり、公正かつ適正な予算づくりを行います。

保健事業については、保養所「那須新林荘」、契約施設「エクシブ」、「ウォーキングキャンペーン」、「大腸がん検診」、「インフルエンザ予防接種補助」、「旅行補助金」、「契約スポーツクラブ ティップネス」、「35歳以上の被保険者の方の人間ドック・脳ドック受診補助」、「女性のがん検診に対する補助」など、多種多様な保健事業を行っています。

今年から「PEP UP」という健康管理アプリを導入しました。こちらを活用していただき、みなさまの健康維持に役立ててください。また、書類申請などについてはDX化を推進していきたいと考えています。



# 令和5年度決算についての詳細

## 音羽健康保険組合

健康保険は、被保険者と事業主（会社）の皆様から納められた保険料を財源として、病気やけが等により思わぬ出費が発生した際に、給付をして支え合う制度です。

音羽健保の収入を支える保険料は、約20億524万円でした。前年度決算比で2,215万円増加し、収入全体の93%を占めています。保険料率は、前年度同様7.5%に据え置きました。

しかし、被保険者・被扶養者の医療代の増加などが見込まれたことから、積立金より約5,744万円を繰り入れました。そのほか調整保険料収入等を加えた収入は、約21億3,613万円となりました。

### 人間ドックなどの保健事業

被保険者・被扶養者の皆様が病気やけが等で医療機関を受診した際、健保組合は窓口支払額（通常7割）を負担し、皆様の支払額（自己負担分）を軽減しています。このほか、入院や手術等で医療費が高額となった場合や、病気・けが・出産等で休職し給与を得られない場合にも給付を行っています。この費用を保険給付費といい、令和5年度では約7億8,154万円となり、前年度決算より約2,989万円増加しました。また高齢者医療制度等にあってられた支援金・納付金は、約8億4,916万円で、前年度決算より約1億3,121万円の増加となりました。

このほか、特定健診や特定保健指導を始め、人間ドックや脳ドック、女性のがん検診、インフルエンザ予防接種への補助、直営保養所やスポーツクラブ利用補助など、皆様の健康を多岐にわたってサポートする保健事業費には、約2億2,462万円をあてました。

以上により支出総額は、約20億2,945万円となりました。

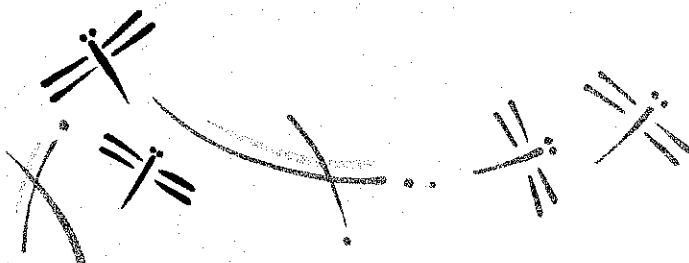
結果として収支差引残高は約1億668万円となり、この金額から繰入金等を除いた当年度の実質的な収支の経常収支は、6,407万円の黒字となり、黒字決算で終えることができました。皆様のご協力に感謝いたします。

### 音羽健保の今後の見込み

今回は黒字決算となりましたが、高齢者医療制度に充てられた支援金・納付金は、今後も増加傾向になることが予想されています。また、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月より2類相当から5類へと引き下げになったことに伴って、被保険者・被扶養者の皆様の受診機会が増えており、保険給付費が増えています。皆様におかれましては、こうした健保組合を取り巻く状況にご理解をいただき、健康維持に努めていただけますようお願い申し上げます。

本年度も健康診断の受診や、健保が導入した健康管理アプリ、各種保険事業の参加や利用などにより、健康にお過ごしいただけますと幸いです。

※介護保険は、国の収入業務を健康保険組合が代行する制度です。令和5年度は、約5,571万円の黒字決算となりました。



## 令和5年度に実施した主な保健事業

### ● 特定健康診査事業、特定保健指導事業

事業項目	概要	対象者	時期や人数など
特定健診（被保険者）	【目的】健康状態の把握 【概要】事業主健診と併せて実施。任継被保険者のみ健保にて実施	被保険者	受診者数 68名
特定健診（被扶養者）	【目的】健康状態の把握 【概要】特定健康診査の実施	被扶養者	受診者数 673名
特定保健指導	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施	被保険者 被扶養者 (各基準該当者)	動機づけ支援 46名 積極的支援 39名

### ● 保健指導宣伝

事業項目	概要	対象者	時期や人数など
医療費通知	【目的】健康意識の醸成 【概要】医療費情報をWEBにて更新	被保険者 被扶養者	医療費情報を毎月更新 (HPの「マイヘルスウェブ」上に掲載)
インセンティブ付与	【目的】健康意識の醸成 【概要】医療費情報をWEBにて更新	被保険者	令和5年度は ポイント交換 433件 (185万8600ポイント分)
医療費適正化	【目的】後発医薬品切替による医療費の適正化 【概要】ジェネリックカードの送付及びジェネリック医薬品差額情報閲覧	被保険者	ジェネリックカード配布 年1回 社員に家庭常備薬配布の際に同梱

### ● 疾病予防

事業項目	概要	対象者	時期や人数など
大腸がん対策	【目的】大腸がんの早期発見 【概要】検体検査(10～11月)	被保険者	受診者数 578名
骨密度検査	【目的】骨粗しょう症の早期発見 【概要】事業主健診と併せ骨密度検査	被保険者	受診者数 420名
女性のがん検診	【目的】子宮がん・乳がんなど女性特有のがんの早期発見 【概要】年度内に1度、希望する女性の被保険者に対して100円未満を切捨てた金額を補助	被保険者	セット(乳がん+子宮)59名 子宮がん単品 7名 乳がん単品 5名
脳ドック	【目的】脳疾患の早期発見・成人病予防 【概要】人間ドックと併せ脳ドック実施。上限40,000円まで補助	被保険者	受診者数 483名
人間ドック	【目的】病気の早期発見 【概要】希望する40歳以上被保険者に対して上限70,000円まで補助	被保険者	受診者数 648名
歯科健診	【目的】う歯予防・口腔ケア推進 【概要】無料の歯科健診・歯科相談。被保険者は事業所別に巡回方式で実施。被扶養者はリストから好きな歯科をピックアップして受診	被保険者 被扶養者	巡回受診者 46名
家庭常備薬	【目的】常備薬の設置による、軽症での受診を抑制 【概要】家庭用救急常備薬の斡旋	被保険者	利用者数 2,006名
インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザ予防 【概要】インフルエンザ予防接種補助	被保険者 被扶養者	利用者数 1,370名

電話による健康・医療相談	【目的】健康相談・急な病気への対応 【概要】専門職による電話健康相談窓口の設置	被保険者 被扶養者	相談件数 53件
メンタルヘルス事業	【目的】健康相談・急な病気への対応 【概要】専門職による電話健康相談窓口「心の相談室」の設置	被保険者 被扶養者	相談件数 8件
ウイルス性肝炎	【目的】肝疾患の早期発見 【概要】入社時健診未受診者を対象としたB型肝炎およびC型肝炎の検査	被保険者	受診者数 51名

### ● 体育奨励

事業項目	概要	対象者	時期や人数など
スポーツクラブ	【目的】健康・体力づくり 【概要】スポーツ施設の利用補助	被保険者 16歳以上の被扶養者	利用回数 5,196名
OK健康21ウォーキング	【目的】健康・体力づくり 【概要】健保主催のウォーキング大会実施	被保険者 25歳以上の被扶養者	参加者数 444名

### ● 保養関係

事業項目	概要	対象者	時期や人数など
直営保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】直営保養所の運営	被保険者 被扶養者	利用者数 那須新林荘 1,700名
旅行補助	【目的】リフレッシュ 【概要】保養施設の利用補助	被保険者	利用泊数 被保険者 2,347泊
会員制保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】会員制リゾート（リゾートトラスト）と契約	被保険者 被扶養者	利用泊数 377泊 利用者数 1,178名